

北九州未来創造セミナー 出演者経歴

【ナビゲーター】

北九州市立大学教授 永原正章 (Masaaki Nagahara)

<経歴>

2003年、京都大学で博士(情報学)の学位を取得後、同大学で助手、助教、講師を経て、現在、北九州市立大学教授およびインド工科大学客員教授。

専門は自動制御理論と機械学習。

米国電気電子学会(IEEE)制御システム部門より国際賞である Transition to Practice Award (2012年) および George S. Axelby Outstanding Paper Award (2018年) をそれぞれ受賞。Sparsity Methods for Systems and Control (Now Publishers) や「スパースモデリング」(コロナ社) など著書多数。

【MC】

フリーアナウンサー 桑原ナミ (Nami Kuwahara)

【第一回ゲスト】

株式会社 KDDI 総合研究所 川田亮一 (Ryoichi Kawada)

株式会社 KDDI 総合研究所 西谷明彦 (Akihiko Nishitani)

<経歴(川田氏)>

所属：株式会社 KDDI 総合研究所 イノベーション協創グループ

大学院修了後、現 KDDI 入社、研究所に勤務。主としてテレビ伝送の高効率化・高信頼化・高品質化に関する研究開発、特に動き補正 TV 方式変換や映像品質監視など映像信号処理の研究開発に従事(博士(工学))。その経験を活かし現在、水中ドローン等の音響測位を革新する方式の研究開発に取り組んでいる。映像情報メディア学会の技術振興賞開発賞ほか、学会からの受賞多数。また、取り組んだ研究開発成果により、社長賞もこれまでに 3 度受賞している。内閣府出向中には、Society5.0 の普及活動にも取り組んだ。

<経歴(西谷氏)>

所属：株式会社 KDDI 総合研究所 イノベーション協創グループ

入社後、分散ファイルシステム技術や、サイレント障害検知技術などの研究に従事、その後研究のフィールドを海洋に移す。2019年深海探査技術の世界大会に、日本チーム (Team KUROSHIO) の一員として挑戦し、「世界第2位」を獲得。海中での無線通信技術を実用化すべく応用研究に挑み、LED 光通信により海中でスマホ (SNS) を使うといった世界初の PoC にも成功。現在は、陸上と同様に、海中でも普通にスマホ生活を送れるようにすることを目的に、研究を進めている。また、水中無線技術の産業化を目指す ALAN コンソーシアムにおいて、その運営にも携わり、技術と自然のコラボで、人と海が共存し、海洋を新たな生活圏・経済圏とする夢を追いかけている。

【第二回ゲスト】 株式会社デンソー 門脇正史 (Tadashi Kadowaki)

<経歴>

所属：株式会社デンソー AI 研究部 データサイエンス研究室 量子コンピューティング研究課

1999 年東京工業大学理工学研究科物理学専攻博士課程修了。博士（理学）。大学院在学中に、量子アニーリングの基本原則を指導教官の西森教授と提案。卒業後はローム（株）にて FPGA の開発に従事。バイオベンチャーにてバイオインフォマティクス研究に携わる。国立成育医療センター研究所、京都大学での研究を経て、エーザイ（株）にてゲノム創薬、臨床試験、AI 創薬に従事。2018 年より（株）デンソーにて量子アニーリングや量子コンピュータの研究に携わる。

【第三回ゲスト】 有志団体 Dream On 中村翼 (Tsubasa Nakamura)

<経歴>

所属：有志団体 Dream On（共同代表）

トヨタ自動車勤務時代に、業務外で有志団体 CARTIVATOR を立ち上げ、次世代に夢を提供すべく空飛ぶクルマの開発をスタート。

有志団体からスピンオフしたベンチャー企業 SkyDrive 社との共同開発により、2020 年夏に日本初有人デモフライトを達成。

2021 年からは有志団体を Dream On と改名し、新たなテーマである「未来へのタイムマシン」実現に向けた新たな挑戦をスタート。

Dream On のミッションは「夢を追求し、夢のあふれる未来を創造する」ことで、「世界中の人が夢や未来について考えて行動し、ワクワクする日々を送っている」というビジョンを掲げている。

並行して、慶應義塾大学大学院 SDM 研究科・空飛ぶクルマラボの特任助教を務め、空飛ぶクルマの社会実装に向けた研究を行っている。